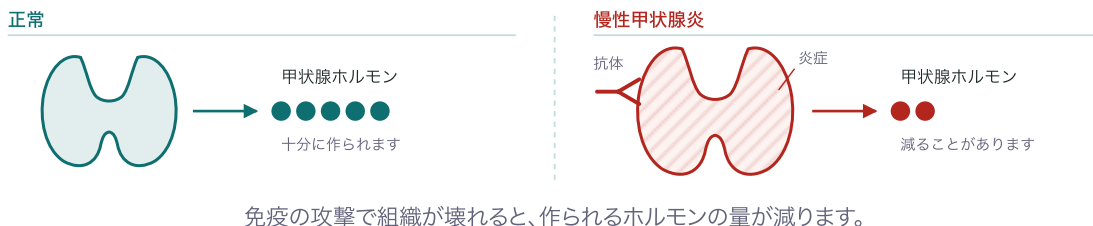


甲状腺に慢性的な炎症が起きる病気です。診断されても、多くの方は甲状腺の働きが正常のままで、薬も要りません。

Q どんな病気ですか

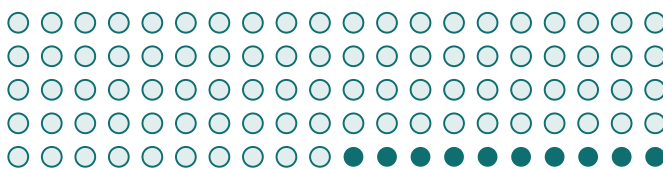
慢性甲状腺炎(橋本病)は、本来は体を守るはずの免疫^{めんえき}が自分の甲状腺を攻撃し、慢性の炎症が続く病気です。炎症で甲状腺が全体に腫れることがあります。女性に多くみられます。

診断には、血液検査の抗体(TPOAb・TgAb)を使います。



Q 薬は必要ですか

慢性甲状腺炎と診断された100人のうち



○ およそ9割

甲状腺の働きは正常のまま。薬は要りません

● およそ1割

働きが弱くなり、薬で補います

診断された方のうち、甲状腺の働きが弱くなるのはおよそ1割です。

多くの方は甲状腺の働きが正常のままです。その場合、治療は必要ありません。

「病気」と聞くと不安になりますが、抗体が陽性であること自体は、体に害を及ぼしません。働きが弱くなっていないかは、採血で確かめられます。

Q 働きが弱くなると、どんな症状が出ますか

ゆっくり進むため、気づきにくいのが特徴です。

だるい

むくむ

寒がりになる

体重が増える

便秘

肌が乾く

「年のせい」「疲れのせい」と思われがちですが、採血をすれば分かります。心当たりがあればお伝えください。

働きが弱くなった場合は、甲状腺ホルモンの薬で足りない分を補います。補えば普段どおりの生活ができます。

Q 気をつけていただきたいこと

ヨウ素の摂りすぎに注意してください。昆布・わかめ・ひじき・のりなどに多く含まれます。

慢性甲状腺炎の方では、ヨウ素を摂りすぎると甲状腺の働きが落ちることがあります。ふつうに食べるぶんには問題ありませんが、昆布だしや昆布加工品を毎日たくさんという食べ方は避けてください。

摂りすぎで働きが落ちた場合は、量を減らすと戻ることがあります。

妊娠を考えはじめたら、その時点でご相談ください。甲状腺の状態を確かめ、必要なら妊娠前に整えておきます。